

ウイリントン、DE/ワシントン、DC、2008年7月8日発

英文プレスリリース日本語訳

シンジェンタ社とデュポン社、北アメリカにおけるトウモロコシ用殺虫剤の種子処理に関する契約書に調印

本日シンジェンタ社とデュポン社は、デュポンの子会社であるパイオニア・ハイブレット社が米国、カナダ、メキシコで販売しているトウモロコシの種子製品に対して、シンジェンタの殺虫剤クルーザーをパイオニアが望む専門種子処理業者向けの、シーズン初期に発生する茎葉害虫および根部害虫防除用の種子処理殺虫剤として使用することについて複数年契約を結んだと発表しました。これによりトウモロコシの生育初期における葉面処理や土壌害虫の防除作業を軽減することができます。尚本契約に関する金銭面での条件は、開示されません。

「本契約は、シンジェンタの革新的な種子処理剤が高品質であることのさらなる証です。」とシンジェンタのNAFTA地域 農薬部門のヘッドであるバルデマー・フィッシャーは、語っています。「これにより、より多くの生産者が改良されたトウモロコシの活力や収量、また品質の高さを体験することができます。」

「パイオニア社は、それぞれの種子が持つ遺伝的可能性を最大化することにより、お客様のお役に立つよう全力を尽くしています。」とパイオニアの営業部門の統括責任者であるAlejandro Munoz氏は、語っています。「最新の種子技術を提供することは、お客様の成功をお手伝いする一つの方法です。」

クルーザーは、高範囲にわたり経済的に重大な被害を及ぼす害虫を防除し、優れた高品質の作物を提供しています。本製品は、トウモロコシ、大豆、油糧種子（ナタネ）及びテンサイを含む20種類以上の作物に使用されており、世界81カ国で登録されています。